

市民アンケート・施策評価結果

まちづくり基本方針	基本的施策(10年後の声屋の姿、)	施策目標 赤=重要度(高)満足度(低)、黄=重要度(低)満足度(低) 青=重要度(高)満足度(高)、緑=重要度(低)満足度(高)	施策評価結果	
①人と人がつながって新しい世代につなげる	1 一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	① 1-1 市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる	☆	
		② 1-2 市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	☆☆☆	
		③ 1-3 地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている	☆	
	2 多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、声屋の文化があふれている	④ 2-1 市民が教養を高める機会が豊富にある	☆	
		⑤ 2-2 様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている	☆☆☆☆	
		⑥ 3-1 平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	☆☆☆☆	
	3 お互いを尊重しながら理解と思いやりの心が広がっている	⑦ 3-2 男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている	×	
		⑧ 4-1 子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	☆☆☆	
	4 子どもたちが社会へ羽ばたけるようたくましく育っている	⑨ 4-2 青少年が社会で自立するための力を身につけている	☆☆☆☆	
		⑩ 4-3 学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている	☆☆☆☆	
		⑪ 5-1 世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている	☆☆☆	
5 地域で安心して子育てができています	⑫ 5-2 子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている	☆		
	⑬ 6-1 市民が健康づくりに取り組んでいる	☆		
②人々のつながりを安全と安心につなげる	6 市民が心身の良好な状態を維持して過ごしている	⑭ 6-2 市民が適切な診療を受けられる	☆☆☆	
		⑮ 7-1 地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している	☆	
	7 高齢者や障がいのある人がいきいきと安心して住み続けられる、まちぐるみの支え合い・助け合いが進んでいる	⑯ 7-2 高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている	☆☆☆	
		⑰ 7-3 障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる	☆	
		⑱ 8-1 市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている	☆☆☆☆	
	8 一人一人の意識やまちの雰囲気暮らしの安全を支えている	⑲ 8-2 犯罪が起きにくいまちになっている	☆☆☆☆	
		⑳ 9-1 家庭や地域、行政の防災力が向上している	☆☆☆	
	9 まちの防災力が向上し、災害時に的確に行動できるよう備えている	㉑ 9-2 災害に強い安全なまちづくりが進んでいる	☆☆☆☆	
		㉒ 10-1 自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している	☆☆	
	③人々のまちを大切にす心や暮らし方をまちなみにつなげる	10 花と緑に彩られた美しいまちなみが自然と調和している	㉓ 10-2 建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している	☆☆
㉔ 11-1 環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる			☆	
11 環境にやさしい清潔なまちでの暮らしが広がっている		㉕ 11-2 清潔なまちづくりが進んでいる	☆	
		㉖ 12-1 交通ルールやマナーに関する意識が高まっている	☆	
12 交通マナーと思いやりがまちに行き渡り、市内が安全に安心して移動できるようになっている		㉗ 12-2 公共施設などのバリアフリー化が進んでいる	☆☆☆	
		㉘ 12-3 市内を安全かつ快適に移動できる	☆	
		㉙ 13-1 良質なすまいづくりが進んでいる	☆☆☆☆	
13 充実した住宅都市の機能が快適な暮らしを支えている		㉚ 13-2 住宅都市としての機能が充実している	×	
		㉛ 13-3 市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している	☆☆☆	
④人々と行政のつながりをまちにつなげる		14 信頼関係の下で市政が展開している	㉜ 14-1 市民参画による開かれた市政を運営している	☆
			㉝ 14-2 変化に対応できる柔軟な組織運営をしている	☆☆
	15 経営資源を有効に活用し、健全な財政状況になっている	㉞ 15-1 様々な資源を有効に活用している	☆	
		㉟ 15-2 歳入・歳出の構造を改善している	☆☆☆	

施策目標 (35 分野) ごとの集計

■ 評点と重要度による散布図の提示

35 分野の施策目標について、

- ・縦軸を満足度とし、「そうになっていると思う」に3点、「まあ、そうになっていると思う」に2点、「そうになっていないと思う」に1点の係数をかけ、母数（選択した回答者の数）で割って平均した評点を示す。
- ・横軸を重要度とし、問 11 において 35 分野の中から選ばれた、今後重要と考える分野（3 つ選択）の出現率を示す。

■ 評点と重要度からみた施策への評価

上記の散布図を平均値で 4 象限に区分し、相対的な位置づけを明らかにする。

象限 A…満足度が高く、重要度が低い／施策が評価され、緊急性は低いと意識される分野

象限 B…満足度・重要度ともに高い／施策が評価されているが、さらに発展が求められる分野

象限 C…満足度・重要度ともに低い／施策への評価は低く、関心も低い分野

象限 D…満足度が低く、重要度が高い／施策への評価が低く、重点的な取組が求められる分野

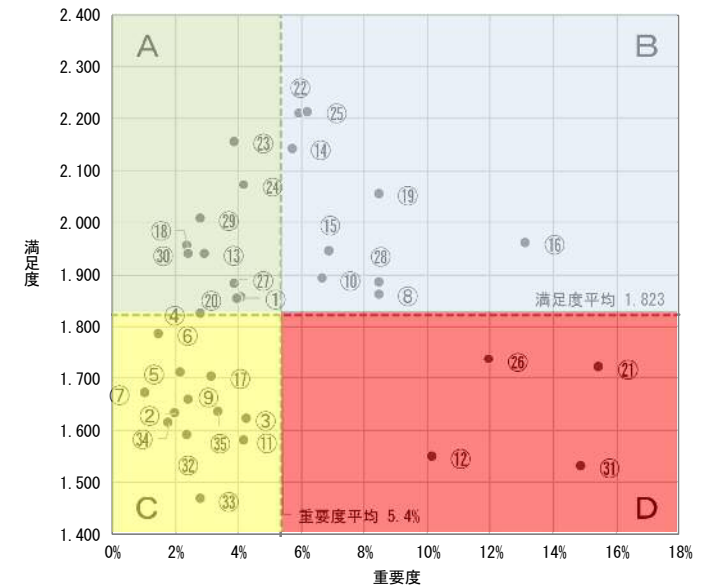


図 1 満足度と重要度の散布図